

広報 かわぐち

No. 125
昭和59年 3月

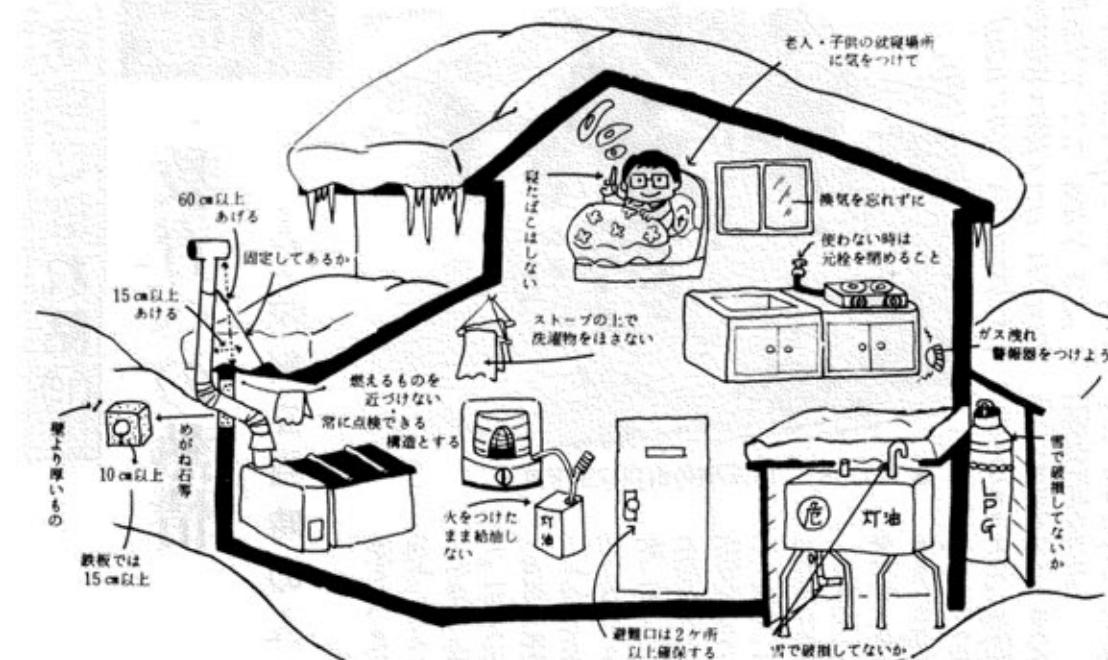
発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場企画課
(〒949-75 025889(代)3111)



おもな内容
昭 58 公共事業の実績がい要 2~3
町議会 3月定例会、8日から 4
当町は 10,000 ㎡以上は届出が必要 5
転作（他用途米加わる） 6~7

ガン、町内の死因別ではトップ 8
スポーツコーナー 9
お知らせコーナー 10~12

人口	6,619人	昭和59年2月1日現在
男	3,249人	
女	3,370人	
世帯数	1,513戸	



※ 消火器の設置をお忘れなく!!

バイク・耕耘機
軽四輪・廃車等の
手続きは三月中に
・期間
三月一日～三月二十一日
(役場の執務時間内)
・場所
町民課

軽自動車税は毎年四月一日に所
有していた人に課税されます。
バイクや軽四輪を売買、廃車し
たときは、必ず名義変更届または
廃車届を出しましょう。

一二五CC以下の排気量のものは
は税務課で、一二五CCを超える
排気量のものは購入店などで手続
きをしてください。

これらの手続きをしないと、廃
車済と思っていた車や、他人のもの
になっている車の税金を、自分
で納めなければなりませんので気
をつけましょう。

再点検をしてください

火災多発!!

あなたの財産を
お確かめください
昭和五十九年度の固定資産（土地・家屋・償却資産）課税台帳を
次のとおり従覧に供します。
町内に土地や家屋などを所有し
ているかたは、この機会に課税価
格などをお確かめください。

講演会

講演 水野晴郎氏（映画評論家）
演題 「人生のめぐり逢い」
とき 昭和59年3月18日
午後1時開演
ところ 町民文化会館 2階
主催 町商工会

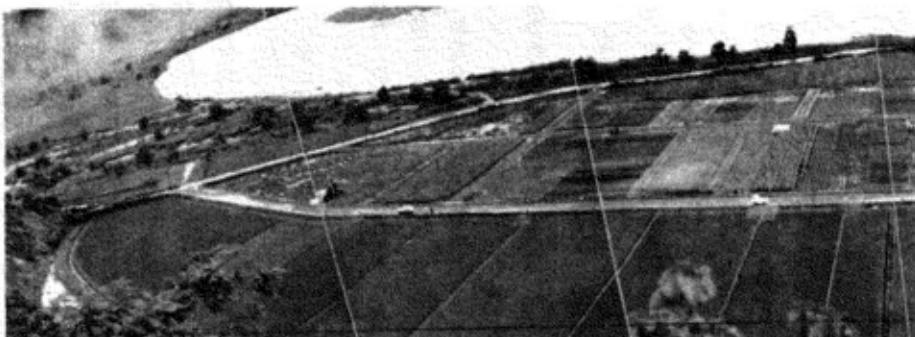
講師紹介

水野晴郎氏は、昭和6年岡山県生れ。
慶應義塾大学文学部卒。20世紀フォックス・日本ユニバース映画宣伝総支配人を経て、昭和47年独立。

映画・興行・TV番組制作に携わるか
たわら、ユニークな映画批評で注目をあ
びている。

主な著書「いやあ／映画って本当にいい
んですね」

転



作

水田利用再編第三期対策

他用途米加わる

水田利用再編対策は、米の需給を均衡させるとともに農産物の総合的な自給力の向上を図るために、昭和五十三年度からおおむね十年間にわたる事業として実施されていますが、昭和五十九年度から第三期対策が始まります。第一期、第二期の実態をみきわめながら内容の一部が改定されました。

概要は次のとおりでありますのでご協力をお願ひいたします。

問答教室

中には4.2ヘクタールの他用途利用米の作付面積が含まれているから、実際に転作する面積は38ヘクタールになるようだね。

今年度から大幅な制度・内容の改正があつたようだけど主なものについて教えてよ。

第一に奨励補助金が一部の作物を除いて十アール当たり一律八千円減額となつた。第二に加算制度の見直しが行われ、新たに転作定着化推進加算という名称で、

團地化すれば昨年度より高い加算金がもうえるんだ。第三に保全管理の期間が連続六年から一律連続三年までに短くなり、さらに転作作物の上位を占めていた飼料

が新たに加わったと聞いたけど、

他用途利用米ってどんなものなの?

太郎 第一の理由は、古米在庫を今まで加工原材料用にふり向けていたんだけど、過剰米処理が

なぜ、第三期対策からこのような制度が生まれたの?

花子 他用途利用米という制度が主な改正点だよ。

花子 他用途利用米ってどんなものなの?

太郎 みそ・せんべいなどに使われる加工原材料用の米のことだ。

花子 なぜ、第三期対策からこの

度が新たに新設されたと

いうこと?

花子 今年度から第三期対策がスタートするそうだけど実施期間はいつまでの?

花子 今年はどのくらい転作を行えばよいの?

花子 今年はどのくらい転作を行えばよいの?

町の奨励補助金の単価 [第3期]

(10アール当たり)

区	分	基本額	転作定着化推進加算	
			第1種 加算	第2種 加算
転作 奨励 補助 金	永年性作物 (転作を含む)	円 47,000	円 20,000	円 10,000
	・果樹(植栽後5年以内のもの) ・その他の木本性作物等(植栽後3年以内のもの) ・転換畠(5年以内のもの) ・桑			
	特定作物	大豆、飼料作物、そば	39,000	20,000
	一般作物等	特定作物、永年性作物以外の作物等(飼料用青刈り稻、豆類、林地、養魚池等)	24,000	15,000
		野菜	19,000	15,000
管 理 転 作 奨励 補助 金	転作の場合	24,000	15,000	10,000
	保全管理の場合	19,000	-	-
土 地 改 良 通 年 施 行 補 助 金	土地改良事業の通年 施行を実施した場合	22,000	-	-

(注) 第1種加算 → 現行の團地化加算及び集団的な畠転換に対する加算。

第2種加算 → 都道府県知事が定着化の態様ごとに地域の実態に即して定める要件に対する加算。

地域ぐるみ 農業振興を目指して

優良団地組合の紹介

八郎場生産組合



▲カリフラワーの収穫作業 (八郎場)

八郎場生産組合(組合長喜多村雅明・十六戸)では、昭和五十八年より国庫補助事業を導入し、銘柄米の生産アップや生産費低減な

う三百十一俵が町に割り当てられたんだけど、出荷希望をとったら希望が多くて、県に追加希望しているんだ。

の三百十一俵が町に割り当てられたんだけど、出荷希望をとったら希望が多くて、県に追加希望しているそ

うだけど、追加でもらえる可能性はあるの? そして配分時期は?

太郎 県でも、四月にならないとつきりしないようだけど、要望数量の約半分程度は追加でもら

うだけ、追加でもらえる可能性はあるの? そして配分時期は?

太郎 県でも、四月にならないとつきりしないようだけど、要

うだけ、追加でもらえる可能性

はあるの? そして配分時期は?

太

スポーツの町宣言

第六回 町民雪まつり 3月4日AM9:30~ 川口スキー場

- 白銀スキー会場
 - ①スキー競技
 - 回転 小学1年~一般
 - 距離 小学3年~一般
 - ②華麗なるデモンストレーション
- 雪上レクリエーション会場
 - ①コミュニティー広場
 - パン食い競走
 - みかんひろいやぶさめ
 - 宝さがし犬ぞり競走
 - 二人三脚ボール運び
 - ②ふるさと広場
 - ドンド焼 (スキー場安全祈願)
 - かまくら (鳥追い)
 - 餅つき
 - 駄汁 (サービス)



川口三
中林恭子さん

ヤング紹介 (21)

南の島でのんびりしたい

好きです。

明治六年十月、中山校（川口校）が林興庵で開校された。この学区には中山、川口、和南津、川井、牛ヶ島新田、武道窪、相川、川口新田、原新田、山崎新田、塩谷新田があり、今後次々と中山校付属校は分校として開校していく。

明治七年七月に立ち上った人々は学校資本として次のように熱意を示している。「明治十一年十二月まで五カ年中、寄付金を学校備

六年まで五ヵ年間、日々毎戸一匣ずつ元資金を定め、その利子で学校維持の基とする。

一金 七百九十円 中山村
(現在では約八百万円)

一金 五百四十円 川口村

一金 六百七十円 和南津村

三カ村の総代、戸長が連名で副大区長古田島清作、学区取締山本比呂伎(小千谷)に報告している

また、学校新築費として三カ

明治初期の混乱と財政困難の中
で人々が子弟教育のために、明る
い自らの生活、日本の前途に如何
に努力したかが思われる。これは
当時貧困のため就学させられなか
った児童が極めて多いのでも、人
々の骨折りがわかる。

新序舎

新庁舎 新庁舎建設落成に
ともない、昭和59年
3月5日から下記で業務を行います。
なお、電話番号・郵便番号は従来
どおり変わりありません。

新序會所在地

北魚沼郡小出町大字大塚新田



中山校

町史こぼれ話(19)

教育への熱情

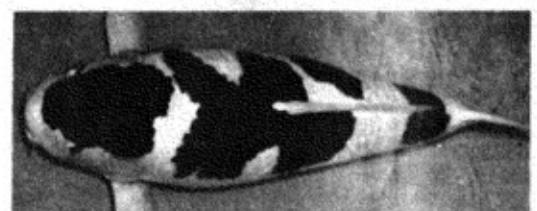
—学校創立当時の人々—

金とし、この元金を預り、年々一割の利息で学校入費に充てる。元金二千三百九十四円（現在では約二千四百万円）、利息子二百三十九円四十銭、村々の用掛の署

▲昭和15～16年頃の旧川口小学校

序舍移転案内

助紅白”
総理大臣賞を受賞



去る1月22日、雪中の東京で開催された、第16回全日本総合錦鯉品評会で、出品数3,447尾の中から、当川口町産の仙助紅白という78センチの大魚が、大会の総合優勝となり総理大臣賞を受賞した。この紅白は全日本愛鱗会の錦鯉全国品評会に続いて、今回で二冠の王者となった銘鯉である。近年の全日本品評会には、米国、英國など6カ国からの出品もあり、年々参加点数も増加し、外国との友好のかけ橋として、小さな錦鯉が大きな役割をはたしている。

国民年金の定額保険料は、今年の四月から一ヵ月につき六、二二〇円に改められます。

国民年金の加入者は、所得の高い人や低い人などその階層は非常に複雑となっています。

このような特殊性を考えて国民年金の保険料は、定額制をとり、急激な負担増をさしひかえて、毎年、徐々に引き上げるという方法がとられてきました。

国民年金の財政は、受給者のみなさんがこれまで納めてきた保険料

料と、現在働いている若い世代の人たちが負担する保険料、国の負担などによってまかなわれていますが、これからも円滑に年金が支払われるためには保険料の引き上げが不可欠な要件になっています。国民年金をよりよい制度にするために、また制度を将来にわたって健全に運営していくために行われる今後の保険料の改正について加入者みなさんのご理解とご協力をお願いします。

東部地区館



…隨想… 川口四 星野誠一
「厄除をしてもらう年」になって、ほんとうに自分に

その資格が備っているのか考えさせられます。
人生の半分まで生きてきて、仕事、家庭、人との関係
何一つとして自分で納得できるものがなかったような気
がします。

「歳月人を待たず」ということわざがありますが、その意味について、この節目にあたり考えています。「精力さかんな若い時、二度とやりなおせない時を精一杯生きよ。歳月は人を待たない。」と。また「15にして学に志し、30にして立ち、40にして感わず、50にして命を知る」とも言います。この教えについて、考えてみます。立つ、30代というのは経済的自立のことでしょう。人と人とのふれあいの機微も知る年代。

40にして感わず…は、軌道に乗り切れない場合、原点に戻って人生をたてなおすことができると、平均余命の長い人々では、あるいは感いの伝も考えます。

「厄年」を、人生の折り返し点として、これからを仕上げの時としたいと思います。